

第1回清水地域審議会 会議録

開催日時	平成19年5月30日(水) 19:30~21:35
開催場所	清水総合支所 3階会議室A
出席者氏名	齋藤会長、米澤副会長、長谷川委員、藤田委員、内田委員、丹尾委員 竹内委員、窪田委員、鎌田委員、黒田委員、松原委員
欠席者氏名	高橋委員、廣部委員、山浦委員、坂本委員
事務局出席者	田嶋行政顧問、岩堀支所長、前田次長、南澤総務課長、松本市民生活課長、 石倉福祉保健課長、向出産業課長、菅谷建設課長、山形教委分室長、 塚本危機管理室次長、尾崎施設維持課長、小林境浄化センター所長 ほか
会議資料	別紙のとおり
協 議 概 要	<p>[報告事項]</p> <p>(1)丹生衛生管理組合の解散及びし尿収集運搬料金の統合について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入量の減少及び施設の老朽化等に伴い、更新に多額の費用を要することから平成19年度をもって丹生衛生管理組合を解散すること、及びし尿処理の一元化によりし尿収集運搬料金を統合することを施設維持課長が説明し、新たなし尿処理の受入先としての境浄化センターの概要説明を境浄化センター所長より行った。 ・組合解散時の精算方法について質問があり、施設維持課長より組合の積立金を使用し、施設の取り壊し及び借地の現況復帰を行う予定との説明があった。 <p>(2)防災備蓄倉庫・避難所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清水地区における防災備蓄倉庫の位置・備蓄物の内容及び地震時・風水害時における避難場所、防災情報システム整備事業について危機管理室次長より説明を行った。 ・清水南小学校の防災備蓄倉庫後ろの崖にロープが張られ立入禁止となっているが、南小学校は避難所にもなっているため早急に対応してほしいとの意見があった。事実確認し関係課と協議・対応する旨回答した。 ・防災情報システム整備事業について、平成20年に清水地区で無線の整備を何箇所行う予定かとの質問があった。旧福井市内におけるものが1.5km半径に設置されており、清水地区の住宅地域を包含して考慮すると多くても10箇所、

おおよそ6箇所くらいになるのではないかと回答した。

- ・防災情報システムの効力について質問があり、防災情報システムのような同報無線については全国の市町村で整備され実績があるものであり、その財源については全国瞬間警報システム設置に係る国の補助を防災情報システム設置に絡めて利用していきたいと回答した。
- ・旧清水町時代には毎年総合防災訓練を行ってきた。合併して清水地区が訓練の拠点場所になるのはどれくらいのサイクルになるのかとの質問があった。サイクルとしては50近い地区があるのでそれくらいになるとのこと。ただし、各地区において自主防災組織が結成されているので、それを利用し消防当局との相談の上、自主訓練を行って欲しいと回答した。
- ・避難所の位置について、風水害時の拠点避難所の内、清水北公民館以外は位置的に低く避難所としての役目を果たしていないのではとの指摘があった。公民館は避難所の位置付けが後からなされたため、高さという観点から考えると問題があるので、今後、清水西・清水東の公民館建設計画の際には建設位置の高さも踏まえて整備してほしいと回答した。

また、災害時においては状況に応じて地区の集落センターを活用する等、柔軟に対応していくこと。拠点避難所は避難受入所としてだけでなく、災害発生時における地区内の情報収集・発信所として活用し、集落センター等と連絡を密にすることを確認した。

(3)その他

①清水地域における公の施設の管理運営方針の変更点について

- ・農園施設マイファーム清水の管理運営方針について当初予定の直営からマイドーム清水との一括管理による指定管理者制度導入への方針変更を行うことを総務課長より説明した。

②平成19年度清水総合支所主要な事業行事について

- ・今年度の清水総合支所における主要な行事スケジュールを総務課長より、福祉保健課、建設課、教育委員会分室における予定行事の詳細について、それぞれ福祉保健課長、建設課長、分室長が説明した。また、分室長より前回・前々回において委員より質問のあった事項についての報告を行った。

報告①きららパークにおける清水中学校生徒のグラウンド利用について

平日については、16:00～18:30は他に利用が無ければ優先的に利用可能で使用料も免除となる。土曜日の午前中については大きな大会等事前に決まっているものがあれば、月2回程度は優先的に利用可能。ただし、使用料については通常の料金がかかる。

報告②学校におけるクーラーの利用について

クーラー利用について去年は中学3年生のみ夏休みの期間中だけだったが、本庁担当課に確認したところ検討中ではあるが去年よりは良い方向にもっていけるようにしたいとのことだった。

- ・地域ぐるみ一人暮らし支援事業について、支援対象者の範囲及び対象世帯について質問があった。当支援事業は雪下ろし費用の助成を行い、助成対象は65歳以上の非課税単独世帯で近隣に親族等の支援者がいないこととなっていること。助成件数は平成18年度は暖冬の為、登録32世帯に対し助成0件、平成17年度は登録47世帯に対し助成22件あったことを回答した。また、当支援事業の通知及び内容説明は民生委員を通じて行っていることも併せて報告した。
- ・民生委員の選出について、今年度は民生委員の改選期に当たるが、人選に大変苦勞するので清水地区における定数（清水地区一円又は公民館単位での選出）を早急に教えて欲しいとの意見があった。前任者から大変だったことは聞いてるので、事務の円滑化が図れるよう応援体制を充実していくことを回答した。

その他

清水中学校PTA会長の交代により、永松眞氏から鎌田正弘氏に審議会委員を交代